

佐賀県唐津市

～キノス（柑橘類）、実山椒等の導入による遊休農地の解消～

[地域指定]	-
[農業地域類型]	中間農業地域
経営耕地面積	5,325ha
耕作放棄面積	農家885ha 土地持ち非農家388ha

【地域の概要】

当地域は、唐津市の東端に位置し、四方を急峻な山々に囲まれた面積60km²の中山間地域で、地域面積の74%を山林が占め、標高50mから600mに農用地400haと13の農村集落が点在している。農業の主体は、水稲と露地みかんであったが、みかん価格の低迷により、最近では、野菜や花卉の栽培が増加し、複合化が進んでいる。過疎化や高齢化が進む中、農業・農村の後継者不足により、遊休農地や荒廃農地が増加し、農用地の約1割の40haが原野化している。

【耕作放棄地解消に向けた取組の経緯】

過疎化、高齢化の進行に伴い遊休農地や荒廃農地が増加し、さらにイノシシ被害による耕作放棄地も増えてきている状況の中、遊休農地化を抑制し、農地と農村集落の機能を保全するため、国の元気な地域づくり交付金を活用して、産、学、官の協働により、鳥獣被害を受け難い農作物として、キノス、実山椒やタラの木を選定し、平成20年度までに、9集落、58農家の遊休農地にキノス0.79ha、実山椒1.92ha、タラの木0.71ha、ブルーベリー0.73ha、その他（サカキ、柚子等）0.18haを植栽した。

耕作放棄地解消に向けた取組

耕作放棄地解消面積：4.3ヘクタール 取組時期：平成18年度～

平成18年度に鳥獣被害を受け難い農作物（キノス、実山椒）を植栽、平成19年度は引き続き実山椒、タラの木、ブルーベリー等の植栽と共に、農産物の商品化、販路開拓等を目指し、産学官による協議、農産物の成分分析、先進地視察等を実施した。平成20年度はさらにキノス、実山椒、タラの木、ブルーベリーの植栽を拡大、また、実山椒、タラの芽の商品化、販売開拓に取り組んだ。



タラの木植栽前



タラの木植栽後